

技術・家庭科

技術・家庭科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
基礎的な知識・技能を身に付けて、生活の課題を解決する力を付ける。	よりよい生活や持続可能な社会に向けて、工夫し創造する力を付ける。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 興味・関心や、家庭生活の中での体験の差が大きく、理解したり作業したりするのに時間がかかる。ア 作品づくりの中での工夫や創造が苦手な生徒が多い。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 生活に結びついた具体的な事例をあげる。実物や写真など視覚的な教具を多く使い、完成するまでの作業時間の確保を図る。ア 木工作品の製作で、自己表現ができる題材を取り上げる。また、新たな工具や機械を使って製作できることを知らせる。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 通年 9月～12月 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 実習では話を聴いて、よく取り組むが基本的な技能に差がある。ア 作品の説明書を読み取るのに時間がかかる。その他 	<ul style="list-style-type: none"> 動画による実習見本を用意する。個別指導を行う。ア 専門用語は、分かりやすくかみ砕いて説明する。その他 	<ul style="list-style-type: none"> 7月～2月 通年 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 基礎を生かした応用課題になると苦手とする生徒が多い。ア 実習課題で自ら進んで工夫することが苦手な生徒が多い。イ 	<ul style="list-style-type: none"> プリント学習で、基礎の定着から応用課題への反復を行う。ア 簡単な応用例を示したり、アイデアを引き出したりすることを助言する。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 通年 7月～2月 	

<p>■「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</p> <p>1年 インターネットを活用した情報の収集と整理</p> <p>2年 インターネットを活用した情報の収集と整理</p> <p>3年 双方向性のあるプログラミングの習得</p>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p> <p>1年 学習の振り返りシートの活用や学習ノートの記入。</p> <p>2年 学習の振り返りシートの活用や学習ノートの記入。</p> <p>3年 学習の振り返りシートの活用や学習ノートの記入。</p>
--	--